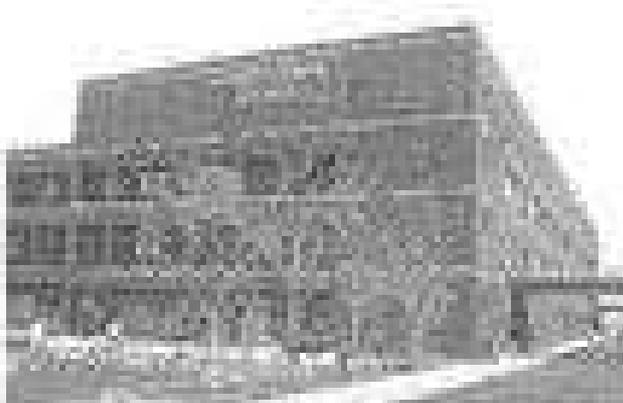


最新医療施設の 空間設計を担当

トムスエイチン

ケイアイスター不動産グループのトムスエイチン（東京都渋谷区、戸倉啓子代表）は近日、同社がインテリアデザインを手がけた医療施設「東京病院付属ヘルスパークタリニョク」（西宮市、西宮市、西宮市）のマスコ



3階は集客会を開いた。同施設は、その設計とアンチエイジングをテーマとし、最新型のMRI・MSCT検査設備を組み合わせる「全身の」のほか、血管年齢やホルモンバランスをチェックして個々の状態に応じた健康増進法を提供する「アンチエイジングプログラム」など人間ドックコースが充実している。

また従来の医療施設にはないフィットネスや露天風呂、映画室を設置し、利用者の健康増進やメンタル面をサポートする工夫を凝らしている。施設内はフロア別にテーマが設定されており、「1階

が「暮らし」、2階が「ファミリー」、3階が「未来」、4階の無病院長がイタリアから取り寄せた家具や絵画が装飾されている。

以前から予防医学の重要性を説いていた無病院長は30年間に渡り地域医療に従事。18年前から同施設の構想を描き、同社の戸倉代表との出会いが縁で構想が具体化した。

省機材経験を持つ戸倉代表は、当時から「別荘を造るのは楽だけどなく、人の心に響かせる色合い等も含めた空間が大事」という考えを持っていった。

同施設は7月1日にオープンしている。